

令和2年7月豪雨や令和元年東日本台風など、全国各地で甚大な被害が頻発していることを踏まえ、新井田川水系でも事前防災対策を進める必要がある。

新井田川水系八戸圏域では流域の特性等に応じて下記の対策を実施することにより、圏域内における浸水被害の軽減を図る。

■ 氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策

- ・ 樹木伐採・河道掘削
- ・ 既存ダムにおける事前放流
- ・ 土砂災害対策
- ・ 森林整備・治山対策
- ・ 水田貯留
- ・ 下水道施設の老朽化対策、浸水対策

■ 被害対象を減少させるための対策

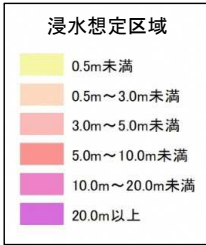
- ・ 浸水リスクを考慮した立地適正化計画
- ・ 盛土構造物の保全

■ 被害の軽減、早期復旧・復興のための対策

- ・ 円滑かつ迅速な避難のための取組
(ホットライン、タイムライン 等)
- ・ 被害軽減のための取組
(水防体制の強化 等)



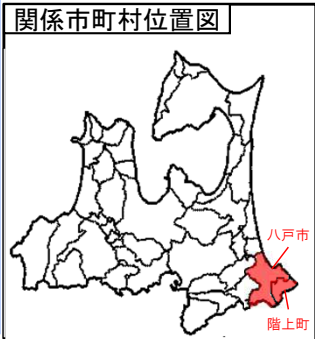
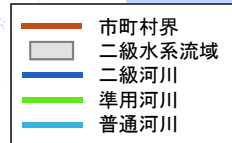
世増ダム



土砂災害対策(砂防堰堤)

世増ダム
事前放流

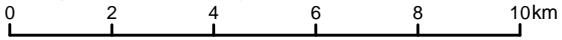
八戸圏域
関係市町村
八戸市、階上町



- ① 新井田川
- ② 松館川
- ③ 頃巻川
- ④ 古里川



新井田川



まるとまちごとハザードマップ(八戸市)

※対策の代表箇所を旗揚げしている(全域で取組む対策は省略)。
 ※「伐採・掘削」は該当河川の位置を旗揚げしている。
 ※浸水想定区域は洪水予報河川および水位周知河川を表示している。
 ※具体的な対策内容については、今後の調査・検討等により変更となる場合がある。

新井田川水系八戸圏域の流域全体を俯瞰し、県、市町、関係機関等が一体となって、以下の手順で「流域治水」を推進する。
 【短期】 樹木伐採・河道掘削の集中実施。土砂災害対策の実施。既存ダムの事前放流、森林整備・治山対策、その他ソフト対策等の推進。
 【中長期】 土砂災害対策を完了させるとともに各対策を継続実施し、地域全体の安全度向上を図る。

区分	対策内容	実施主体	工程	
			短期	中長期
氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策	樹木伐採・河道掘削	県・八戸市・階上町	集中実施	
	既存ダムにおける事前放流	県 等	世増ダム	
	土砂災害対策	県	砂防堰堤	
	森林整備・治山対策	県・八戸市・階上町・森林管理署・森林整備センター	国有林・民有林	
	水田貯留	県・八戸市・階上町 等	実施に向けた調整・検討	
	下水道施設の老朽化対策・浸水対策	八戸市		
被害対象を減少させるための対策	浸水リスクを考慮した立地適正化計画	八戸市	見直し検討	
	盛土構造物の保全	県・八戸市・階上町	道路盛土 等	
被害の軽減、早期復旧・復興のための対策	円滑かつ迅速な避難のための取組	県・八戸市・階上町・気象台	浸水想定区域・ハザードマップ、ホットライン・タイムライン、防災教育 等	
	被害軽減のための取組	県・八戸市・階上町	水防体制の強化、市町庁舎等の機能確保 等	

※取組期間について、【短期】は今後概ね5年、【中長期】はその後10年程度。なお、スケジュールは今後の事業進捗によって変更となる場合がある。